

大手企業

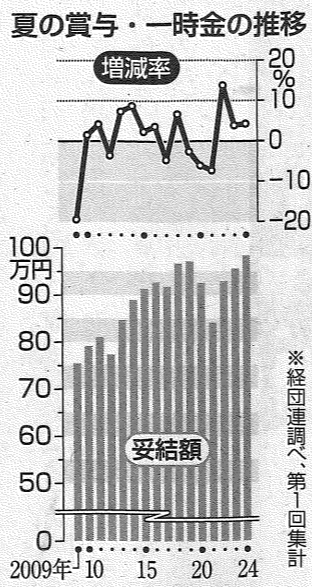
夏の賞与、過去最高

経団連 3年連続増、98万3112円

経団連が12日発表した大手企業の今年夏の賞与・一時金(ボーナス)に関する調査結果によると、組合員の平均妥結額が昨年夏に比べ4・31%増の98万3112円だった。増加は3年連続。妥結額は第1回集計として、現行の集計方式を始めた1981年以降で過去最高だった。

「賃上げの勢い加速」

2024年春闘では大企業を中心に大幅な賃上げが実現。経団連が呼びかけたことで、基本給を底上げするベースアップ(ベア)を実施した企業が多く、ボーナスも増加したとみられる。担当者は「賃上げの momentum(勢い)は加速している」と話した。内訳は製造業が3・52%増の100万1780円、非製造業が6・79%増の92万5249円だった。製造業と非製造業を分けて集計し始めた97年以降、製造業で100万円を超えたのは初めて。非製造業は新型コロナウイルス禍で業績が落ち込んでボーナスも減少していたが、コロナ禍が収束し、業績が戻る中で回復したとみられる。第1回集計では17業種の増の100万1780円、



97社について昨年夏の実績と比較した。うち14業種で増加し、業種別では自動車の伸び率が17・83%と最も高く、セメント(13・54%増)、鉄道(11・50%増)が続いた。一方、減少したのは化学(6・81%減)、電機(2・14%減)、食品(1

「WEB定期」で特別金利

大和信用金庫(桜井市、中村正徳理事長)は、個人インターネットバンキングでの預け入れを対象とした「WEB定期預金」特別金利キャンペーンを実施している。8月30日まで。窓口に行かなくても各種手続きができるアプリサービスなど、同金庫が推進する非対面取引の充実に向けた取り組みの一環として初めて実施。

対象は個人インターネットバンキングの契約をしている個人で、スマートフォンやパソコンで同バンキングによる定期預金の預け入れをする。金額は1口20万円以上

大和信金が来月30日まで 非対面取引充実へ初実施

500万円以内(1円単位)。預入期間は1年で、適用金利は年利0・250%(税引後0・19921%)。キャンペーン金利は当初預け入れ期間のみの適用で、継続した場合、満期日当日の規定の金利が適用される。他の金利優遇やキャンペーンなどの併用はできない。問い合わせは同金庫業務推進部、電話0744(45)5005

・23%減)の3業種だった。調査は従業員500人以上の22業種、244社が対象

TSMC 熊本工場で600人採用

25年新卒人材確保を加速

半導体受託生産の世界最大手、台湾積体回路製造(TSMC)が熊本県菊陽町に建設した工場の運営子会社JASMGが、来春に600人を超える新卒採用を計画していることが12日分かった。今春の256人の倍以上となり、既に第1工場が開所し、第2工場も年内に建設を始めることから人材確保を加速させる構えだ。外資系企業の新卒採用としては有数の規模感となる。国内の半導体業界では、大手のルネサスエレクトロニクスが2025年春に250人、製造装置を手がける東京エレクトロンは50



熊本県菊陽町工場114月

不二家が値上げ

チョコなど12品 6品実質値上げ

不二家は11日、チョコレートなど12品を9月2日出荷分から順次、値上げすると発表した。クッキーの「カントリーマム(贅沢バニラ)」など6品は、価格を維持したまま容量を減らして実質的に値上げする。原材料や輸送コストの上昇などが背景としており、出荷価格の改定率は約5・20%。

値上げするのは「ルック(マド)」など。目は公表していません。

サッポロワイナリー製造を

サッポロワイナリー製造を

ワイルド・ヘリテイジ

新代表に東氏

集会以新体制・方針発表

観光事業や運送事業を展開するノブレスグループ(川井徳子代表・奈良市東紀寺町)は11日、奈良市春日野町の奈良春日野国際フォーラムで、グループの方向性を発表する「ノブレスグループ感謝の集い」を開いた。約150人が出席した。

同グループの祖業である新日本輸送が昨年50周年を迎えたことや、グループ会社で川井代表が立ち上げたワイルド・ヘリテイジの新たな代表取締役に東正教氏が就任することなど、同グループの新体制や方針が発表された。



就任のあいさつを述べるワイルド・ヘリテイジ新代表の東氏11日、奈良市春日野町の奈良春日野国際フォーラムで

ながら皆さまのためにさらに発展していく」と意気込みを語った。来賓の馬淵澄夫、小林茂樹両衆議院議員や堀井巖参院議員も祝辞を述べた。フジトランスポートの松岡弘晃社長による基調講演も行われた。

流通大手4社が増収

セブン、イオンは減益

流通大手4社の24年3~5月期連結決算

	売上高	純利益
セブン&アイHD	2兆7347 (3.2)	213 (▲49.3)
イオン	2兆4492 (5.4)	51 (▲71.1)
ローソン	2794 (5.8)	169 (5.4)
ファミリーマート	1257 (0.7)	154 (5.6)

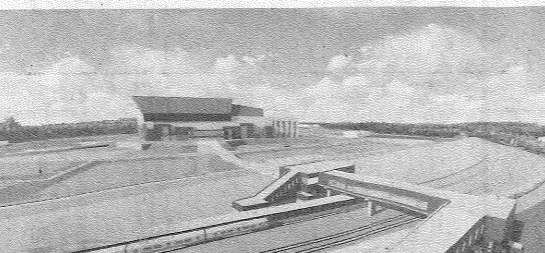
*単位は億円、()内は前年同期比増減率%、▲はマイナス

スーパー、コンビニなど流通大手4社の2024年3~5月期連結決算が12日、出そろった。新型コロナウイルス禍後の人の流れの回復を背景に、セブン&アイ・ホールディングス、

イオン、ローソン、ファミリーマートの全社で増収だった。一方で、セブン&アイとイオンの純利益は特別損失を計上したことなどが響き、減少した。セブン&アイの純利益は

前年同期比49・3%減の213億円だった。ニッセンホールディングスの株式売却による特別損失などを計上したことが要因。売上高に当たる営業収益は3・2%増の2兆7347億円だった。イオンは営業収益が5・4%増の2兆4492億円、4年連続で過去最高だった。物価高の中、比較的安価なプライベートブランド(PB)が好調だった。一方で、純利益は71・1%減の51億円だった。前年同期は株式評価損で法人税の支払いが減ったことで純利益が膨らんでいた。ローソンとファミマは気温上昇や行楽需要を捉え、増収増益だった。ローソンは純利益が5・4%増の169億円、営業収益が5・8%増の2794億円。ファミマは純利益が5・6%増の154億円、営業収益が0・7%増の1257億円だった。

エスコン新駅デザイン公表 球場への玄関口表現 JR北海道、今秋着工



プロ野球日本ハムの本拠地「エスコンフィールド北海道」(北広島市)近くに新設される千歳線の駅について、市とJR北海道は11日、駅舎デザインを公表した。球場への玄関口を表現した大小の門や、改札空間に市の木カエデを使用したことなどが特徴。秋に着工し、2028年夏の開業を見込む。

新駅は北広島―上野幌間に建設。ホームは2面4線、3階建て駅舎の3階に改札を配置し、試合日の想定乗車人員は1万人。駅名は市と協議中だが、市役所で上野幌市役所は「上野市長は『大学の進出も、多くのに図られる。で時期の開業をい』と話した」と話した。球場は現在、広島駅からはかかるが、新駅に短縮される